

施策 6

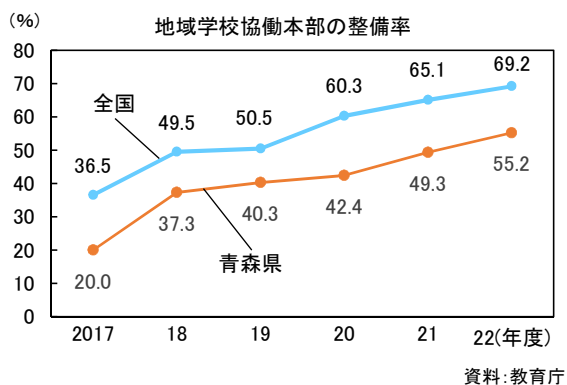
学校・家庭・地域が連携し社会全体で子どもを育む仕組みづくり

学校・家庭・地域の連携を強化し、社会全体で子どもを育む仕組みづくりを推進します。

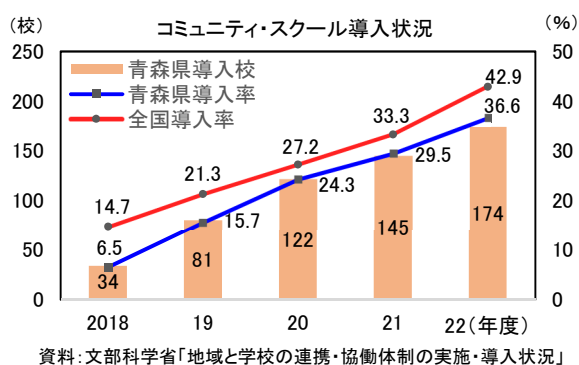
■2022(令和4)年度の取組・成果

- 地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えられるよう、市町村による地域学校協働本部の設置を促進するため、地域の実情に応じた多様な形態の本部構築モデル事業を実施するとともに、地域学校協働活動に対する理解を深めるための研修会を開催しました。
- 地域に開かれた学校の推進と教育活動の充実に向けて、県立学校8校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクール導入による効果や課題の整理を行いました。
- 家庭の教育力向上を図るため、家庭教育支援者向けの研修会や読み聞かせの大切さを伝える親子ふれあい読書アドバイザーの養成を行ったほか、地域全体で家庭教育を支援する意識や必要性についての普及・啓発を行うため、家庭教育応援フェスタを開催しました。
- 家庭・地域・学校が連携して、子どもが読書に親しむ機会・環境の充実と普及啓発を進めることを目的に県内の中学生・高校生を対象に友達に薦めたい本の紹介文の募集やイベントを開催しました。

■施策の現状を表す指標の動向等



地域学校協働本部の整備率は、年々上昇していますが、全国平均を下回っています。



本県におけるコミュニティ・スクール導入校は年々増えていますが、全国平均を下回っています。

■主な課題と今後の取組の方向性

主な課題	今後の取組の方向性
<p>本県の地域学校協働本部の整備率は増加傾向にあるものの全国平均と比べ低い水準にあるため、地域学校協働活動に対する理解を得ながら、本部設置を進めていく必要があります。</p>	<p>地域学校協働活動推進員の育成に取り組むとともに、多様な形態の設置モデルを示すことで市町村への本部設置を促します。</p> <p>また、教職員や地域住民等の地域学校協働活動に対する理解を深めるための各種研修会を実施します。</p>
<p>学校運営協議会を導入した県立学校においては、地域と学校との組織的な連携・協働体制を継続していく必要があります。</p>	<p>保護者や地域住民が一定の権限と責任を持って学校運営に参画し、地域と学校と家庭が育てたい子ども像、目指すべき教育のビジョンを共有し、目標の実現に向け協働する体制を構築していきます。</p> <p>また、県立学校における学校運営協議会導入校の拡充に向けた取組を進めます。</p>
<p>全ての親が安心して子育てを行えるよう、学校と家庭教育支援団体、福祉部局等の関係機関がより一層連携し、予防的・早期対応型の家庭教育支援を進める必要があります。</p>	<p>学校、家庭教育支援団体、関係機関などつながりを深めるための研修会や、県民向けのイベントの開催など、地域全体で家庭教育を支援していく気運の醸成、家庭教育への総合的な支援を図ります。</p>

(参考) 2022(令和4)年度における県教育委員会の主な事業の取組状況

1 特別支援学校におけるコミュニティ・スクール導入モデル事業【学校教育課】 715千円

取組状況	<p>これまで学校評議員と学校運営協議会委員の2つの委員を構成メンバーとして本協議会を開催してきたが、モデル校については、学校評議員を廃止し、本協議会を開催した。また、連絡協議会を2回実施し、「熟議」をテーマとして各校の取組の共有、熟議の在り方等について検討し、モデル校だけではなく、全ての県立特別支援学校で共有した。</p>
------	---

2 高等学校におけるコミュニティ・スクール導入モデル事業【教職員課】 58千円

取組状況	<p>県立高等学校1校においてコミュニティ・スクールを導入し、学校・家庭・地域が連携した取組が推進され、学校を応援しようとしている地域の方々が「学校が何に困っているのか」という理解の促進につながった。</p> <p>学校運営協議会の設置を進めるため、学校運営協議会制度やその設置から運営までの主な流れを示した「青森県立高校のコミュニティ・スクール導入に向けた手引き」を作成し、各県立高等学校へ送付した。</p>
------	---

3 地域学校協働活動推進事業【生涯学習課】 1,862千円

取組状況	<p>県における地域学校協働活動推進の総合的な在り方や、児童の放課後対策の諸問題について協議するため、地域学校協働活動推進委員会及び放課後子ども総合プラン市町村担当者連絡会議を開催（参加者数44人）し、情報共有を図った。</p> <p>市町村教育委員会担当者や地域学校協働活動推進員等の資質向上を図るため、地域学校協働活動推進のための研修を実施した（参加者数52人）ほか、放課後対策等に関わる地域人材を対象に、放課後子ども総合プラン指導員等研修会を6地区で計12回実施し（参加者数延べ803人）、学習・体験活動等の企画・実施、安全管理のための講義や、他の事業関係者等との情報交換・情報共有を行った。</p>
------	---

4 学校・家庭・地域連携協働推進事業費補助【生涯学習課】 28,335千円

取組状況	<p>市町村における地域学校協働活動の推進に資するよう、地域学校協働活動の取組を行う20市町村に補助金を交付した。</p>
------	---

5 学校を核とした地域づくり推進事業【生涯学習課】 1,957千円

取組状況	<p>地域学校協働本部モデルの活動状況等についてまとめたハンドブックを作成した。また、ハンドブックを活用し、市町村教育委員会担当者、教職員等を対象とした地域学校協働活動に関するカンファレンス（参加者数115人）を実施した。</p> <p>地域連携を担う教職員、市町村教育委員会担当者等を対象にした研修会（参加者数337人）を県内6地区において実施した。</p> <p>地域学校協働本部未設置市町村等を対象に、本部整備までの手順についてのアドバイスや県内外の先行事例の紹介等、情報提供を行った。</p>
------	--

6 あおもり家庭教育支援総合事業【生涯学習課】 2,494千円

取組状況	<p>社会の変化に伴う今日的課題に対応するため、家庭教育学習テキスト「あおもり親楽プログラム3～支援者編」を改訂した。</p> <p>読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」養成講座（6地区、参加者数307人）を開催し、新たに10人のアドバイザーを登録した。</p> <p>地域全体で家庭教育を支援するため、家庭教育応援フェスタ（参加者数112人）や、青森県家庭教育支援ネットワーク形成研修会（参加者数49人）、家庭を支える連携・協働セミナー（参加者数43人）及び祖父母向け孫育て研修会（参加者数101人）をそれぞれ開催した。</p>
------	--

7 地域の今と未来をつなぐ教育支援活動コーディネーター等研修【生涯学習課】 581千円

取組状況	<p>学校と地域住民、企業・NPO・各種団体等をつなぐ教育支援活動に取り組むコーディネーター等のスキルアップ研修（参加者数44人）、地域資源を活用したキャリア教育推進フォーラム（参加者数100人）をオンラインとの併用により実施した。</p> <p>本事業を通じ、コーディネーター等のスキルアップとともに、教員、保護者、企業関係者、コーディネーター等の今後の活動への共通理解と意欲向上が図られた。（総合社会教育センター）</p>
------	---

8 子どもの読書活動推進事業【生涯学習課】 2,522千円

取組状況	<p>広く県民が子どもの自主的な読書活動の意義や重要性について理解と関心を深め、家庭・地域・学校を通じた社会全体で子どもの読書活動を推進する機運の醸成を図るために「子どもの読書活動推進大会」を八戸市で開催した（参加者200人）。</p> <p>中学生及び高校生の読書意欲の向上に向けては、「大切なあなたへ薦める青春の一冊」コンクールを開催（応募点数4,080点）し、優秀作品については、冊子、ホームページ等で公開した。</p> <p>また、学校における読書活動推進を支援するため、実践事例を紹介するリーフレットを作成し、学校及び関係機関等に配布した。</p>
------	---

9 あおもり家庭教育力向上事業【生涯学習課】 610千円

取組状況	<p>地域における家庭教育支援体制を整備するため、県内2地区（上北・西北）において、あおもり家庭教育アドバイザー養成講座を各6回開催し、新たに17人のアドバイザーを登録した。</p> <p>また、あおもり家庭教育アドバイザースキルアップ講座を、オンラインで開催（参加者数17人）した。（総合社会教育センター）</p>
------	--

- 10 命を守る！防災教育推進事業【スポーツ健康課】 2,947千円 （施策2に掲載）
- 11 地域部活動推進事業【スポーツ健康課】 318千円 （施策4に掲載）
- 12 若者の社会参加促進事業【生涯学習課】 808千円 （施策7に掲載）